お名前　　様

材　質	金属
価　格	状況によって大きく変わりますので要相談
審美性	★★☆☆☆

ブラケット矯正

歯の表側にブラケットという矯正装置を付ける最も一般的な治療方法で、歯並びと噛み合わせを治すことが出来ます。比較的費用が安価な金属ブラケットを使用します。

<メリット>
・0.1㎜単位で歯の位置を決められます

<デメリット>
・歯の表側に装置を付けるので、目立ちやすい
・口腔清掃（ブラッシング）が難しい

材　質	セラミックやプラスチック
価　格	状況によって大きく変わりますので要相談
審美性	★★★★☆

ホワイトブラケット矯正

歯の表側にブラケットという矯正装置を付ける最も一般的な治療方法で、歯並びと噛み合わせを治すことが出来ます。比較的目立ちにくい透明や白色のブラケットを使用します。

<メリット>
・0.1㎜単位で歯の位置を決められます

<デメリット>
・歯の表側に装置を付けるので、目立ちやすい
（ブラケット矯正よりは目立ちにくい）
・口腔清掃（ブラッシング）が難しい

材　質	ポリウレタン
価　格	状況によって大きく変わりますので要相談
審美性	★★★★★

マウスピース矯正

ブラケットやワイヤーは使わず、透明なマウスピースを付け替えしながら、少しずつ歯を動かしていく治療方法です。

<メリット>
・取り外し出来るので衛生的
・来院の回数が少なくて済む

<デメリット>
・装着時間が短いと矯正期間が延びる
・治療可能な症例が限られる
・上下一体型なので装置装着に制限がある　（主に在宅時に使用）
・細かい調整は難しく、追加でワイヤー矯正が必要になる場合がある

材　質	プラスチック
価　格	状況によって大きく変わりますので要相談
審美性	★★★★★

インビザライン（アライナー）

ブラケットやワイヤーは使わず、透明なマウスピースを付け替えしながら、少しずつ歯を動かしていく治療方法です。

<メリット>
・透明なマウスピースのため、目立ちにくい
・発音のしづらさや不快感も少ない
・取り外し出来るので衛生的

<デメリット>
・装着時間が短いと矯正期間が延びる
・治療可能な症例が限られる
・飲食の際は脱着の必要がある
・細かい調整は難しく、追加でワイヤー矯正が必要になる場合がある

材　質	ワイヤー、プラスチック
部　位	前歯・奥歯
価　格	状況によって大きく変わりますので要相談
審美性	★★★☆☆

非抜歯矯正時の拡大床

顎の成長を利用して歯並びを整える矯正方法です。
対象は永久歯交換時期の小児となります。

<メリット>
・床矯正は外して歯磨きすることがでる

<デメリット>
・矯正器具は自分で取り外した後、自己管理が必要
・装着時間が短いと矯正期間が延びる
・対象が6歳から12歳の年齢であるため自己管理に保護者の協力が必要
・長期間使用することになる。